



# 新宿小だより

令和4年3月学校評価及び保護者アンケート結果 特別号

学校教育目標

やさしく  
かしこく  
たくましく



ホームページQRコード

## 学校評価について

学校の自己評価及び学校関係者評価がまとまりましたので、ご報告いたします。また課題につきまは、改善策をたて、教育活動の一層の充実に努めて参ります。

A：よくできている。特に課題は見あたらない。

○良いところ

B：概ねできているが、課題も少し見受けられる。

●課題

C：あまりできていない。課題も多く見受けられる。

☆改善案

D：できていない。課題が多く、解決には相当の努力が必要である。

領域	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価理由及び改善策	評価	学校の説明についての意見
組織・運営	1 学校は特色ある学校づくりを目指しPDCAサイクルのもと、学校行事や学級経営、教科経営、分掌経営にあたり、学校教育目標達成に向けて組織的に取り組んでいる。	A	○校長室便り等で、学校教育目標への指針を周知している。 ○クロムブックを活用した教育活動に全体で取り組んでいる。 ○お話朝会等で児童・教員が共通理解を図り、学校教育目標達成に向け取り組んだ。 ▲組織的に取り組もうとしているが、教科校務に関して主任の負担が大変多い。 ☆PDCAサイクルをさらに意識したい。	A	○全教室を巡る中で、学年学級が特色を出し、取り組んでいると感じられた。 ☆コロナ禍で計画を立てても実行できず、もどかしい日々ですが、子供たちのために決断力と行動力で乗り越えてほしい。
	2 学校は倫理確立委員会を機能的に活動させ、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事を根絶させるために取り組んでいる。	A	○毎月定期的に、行われているので、よいと思います。 ○教職員事故や不祥事根絶に向けた個人面談を、管理職が迅速に実施、意識の向上に努めた。 ○委員会を中心に自己評価、他己評価を行っており、事故や不祥事も生じていない。 ▲教職員の個人情報について、必要に応じて適切な取り扱いをして欲しい。 ▲時間外労働の勤務は、日々の職務に支障をきたしたり、事故や不祥事に繋がったりするのではないかと心配。 ☆倫理確立委員会の中で話し合った内容を教職員全体に周知できるとよい。	A	○新型コロナウイルス感染対策に力を入れてこられたことに感謝。
	3 学校は災害や事故等のマニュアルを作成、迅速に対応できる体制を整えるとともに、内容を教職員に周知させている。	B	○プール事故を想定し、全体で取り組んでいた。 ○▲年度当初に、マニュアルをみんなで読むので大体は分かっているが、もし本当に災害や事故が起こったらすぐに動けるのか心配。 ▲引き渡し訓練や不審者対応の避難訓練ができていない。	A	○メール配信で迅速に周知し、注意喚起を促している。

	4	学校は組織的に環境美化に努めるとともに、施設設備の適切な管理を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○黙々清掃をがんばった。</li> <li>○中止になったものもあるが、環境美化活動を計画・実施することができた。</li> <li>○PTAや地域の方とも協力して取り組んでいる。</li> <li>○毎月の安全点検に組織的に取り組み、必要に応じて迅速に修繕している。</li> <li>▲少しずつ施設の修繕をしているが、老朽化している箇所がたくさんある。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○トイレ改修工事が着々と進んでいる。</li> <li>○トイレが改修されよかった。</li> <li>○各教室の整理整頓がよくなっている。</li> <li>▲東側トイレ改修も早期実現希望。</li> </ul>
教育課程・学習	5	学校は教育課程の編成・実施・評価を通し教育活動の充実改善を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○例年と大きく異なる状況に応じて、柔軟に実施している。</li> <li>○教育課程検討委員会を開いたあと、学年で相談し意見を反映している。</li> <li>○定期的に見直しをしていた。</li> <li>○タブレットの活用方法などを検討し、実施している。</li> <li>☆日課表の見直しをしたい。読書タイムは、週に1回のペースで入れたい。</li> </ul>	A	○音楽会を通して、子供たち一人一人が一生懸命に取り組む姿勢を感じた。
	6	学校は、個に応じた指導を行うなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための取組を工夫している。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○少人数指導やスマイル教室だけではなく、個に応じたスケジュールを組み、指導を行った。</li> <li>○スマイル教室の取り組みや、低学年からのTT体制が、子供たちの指導・支援に生かされている。</li> <li>○学生ボランティアを活用している。</li> <li>○算数でコース別に授業することで、それぞれ自分に適した環境で学習を進められた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各クラスの特徴がよく出ている。</li> <li>○工夫が見られた。</li> </ul>
	7	学校は川越市小・中学校学力向上プランを踏まえ、児童生徒の思考力判断力、表現力の育成のために、授業改善に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○川越市学習スタンダードを意識して授業を行っている。</li> <li>○学校研究を通して、全体で指導や評価について吟味することができた。</li> <li>○研修を生かしながら、各教員が授業改善に取り組んだ。</li> <li>☆思考力、判断力、表現力育成に向けて、さらに工夫したい。</li> </ul>	A	○振り返りをするることにより、たくさんの気づきを見つけることができる。また、言葉かけが向上するステップとなる。
	8	学校は学習ルールを定めて落ち着いた授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたっている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な学習規律を、年度当初に共通理解している。ノート記録の統一等もできている。</li> <li>○校長が授業の様子を参観し、指導や助言をしている。また、学習規律について、朝会で全体に話したり、校長便りで職員に共通理解を図っている。</li> <li>▲クロムブックの使用ルールが学級や学年判断となっている部分がある。</li> <li>▲教室移動時に駆け込んでくる児童が多い。忘れ物をして教室に帰る児童も多い。</li> <li>☆着席のなど、もう一歩共通理解して進めたい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各クラスがとても落ち着いた授業をしている。</li> <li>○集中力が身についていると感じた。</li> </ul>

	9	学校は、児童生徒の体力向上に向け、児童生徒が体育や部活動・外遊びに意欲的に取り組むよう指導している。	B	○外遊びの機会を作ろうとしていた。 ○スポーツタイム、なかよしタイムなどの取り組みが効果的。 ○放送で委員の子どもが呼びかけていた。 ▲体力向上は課題である。感染対策で仕方ないが、休み時間が自由に遊べないため、児童の体力はかなり落ちている。外遊びの意欲は学年が大きくなるごとに下がってきていると感じる。	A	○休み時間には外で遊ぶよう先生方が声かけしている。
生徒指導	10	学校は、児童生徒の豊かな心を育み、適切な生徒指導を行っている。	B	○毎月、生徒指導委員会で情報共有。ケース会議の実施、いじめアンケートの事後指導等。 ○心配な児童には、様々な職員が関わり、声をかけている。 ○道徳科を中心に、丁寧に行っている。教育相談の体制も取っている。 ○お話タイム、いじめアンケート等を活用し、教員が連携しながら、迅速に指導にあたるようにしている。 ▲学校はいじめについてとても敏感になっているため、子どもたちは守られている安心感を得ているが、保健室登校や不登校が多い現状に自立する力が育ちにくいのではと感じる。	A	○コロナ禍で、児童一人一人への寄り添う対応が考えられている。 ▲全体的に元気がないように感じた。（コロナのためか？）
	11	学校は、児童生徒の主体的な取組を重視し、規範意識を高める指導を行っている。	B	○上級生の主体的な姿が見られる特別活動、行事等が充実していた。 ○児童会はよく頑張っている。 ▲学校のルール順守や公共の場という意識が低い児童がいる。廊下で「遊ぶ」「走る」児童が多い。	A	○朝、進んで挨拶をしてくれる子が多い。 ☆振り返りの意識が次の行動につながる。引き続き高める指導を行ってほしい。
	12	学校は、いじめや差別を許さない態度を育成し、児童生徒が生命の大切さを学びお互いの良さを認め合える指導を行っている。	B	○生徒指導委員会など、定期的に情報共有。 ○研修等を通じて、いじめについての共通理解を図っている。 ○児童会主体の新宿小ワッパンの取り組み、道徳授業公開などができた。 ▲児童同士の仲がよいが一部で上手くいかないことがあった。 ▲心無い言動の児童が多い。 ・いじめを許さない態度、初期の段階で発見し適切な対応をとることが大切である。	B	▲いじめや差別に気づいていない場面があると思う。 ☆コロナ禍により、意思疎通が希薄になり得るが、どのような言葉や行動がいじめにつながるか事例をもって考える機会を増やしたい。
家庭・地域との連携	13	学校は、開かれた学校づくりを目指して、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。	B	○オンラインの取り組みは、かなり頑張っている。 ○定期的に学校便りをホームページにアップしている。ICTを駆使して、リモート授業公開や懇談会、個人面談を行っている。制限の中でも、学校の様子を公開することが出来ている。 ▲コロナ禍で、子どもの様子を直接見てもらうことが難しい。 ▲要望を配慮し過ぎて、学校・教員の負担が大きくなっている部分がある。	A	○学校便りに様子が詳しく書かれている。うたスポ・ギガスポ ○読書・家庭学習・まつり・運動会・オンライン授業など、先生方の取り組みがよく分かる。 ○メール配信・学校便りをこまめに出していただき、感謝。 ▲地域には、なかなかスピーディーに情報が伝わりにくい。

	14	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用している。	B	○昨年度に比べて、いろいろ活用できている。 ○学生ボランティアやスクールガードリーダーの方などと一緒に活動出来ている。 ○保護者や地域の方の支援（昔遊び、町探検、ゲストティーチャー、ミシンボランティア等）があり、様々な機関や企業の出前授業等、コロナ禍でも協力をいただくことができた。 ●今は活用できなくても仕方ない。	A	○ゲストティーチャーの活用が できている。
	15	学校は、家庭・地域と連携協力し、児童生徒の課題解決を図っている。	B	○教育相談の実施。家庭とよく連絡を取っている。 ○面談を繰り返しながら課題解決に日々取り組んでいた。 ○どの教員も家庭との連携を意識した学級経営をしている。各アンケートや交流機会に得た情報に、丁寧に対応している。 ▲児童の放課後の遊び方について、ご家庭の指導力を得られないことがある。 ☆さらに、保護者・地域に理解してもらえるようにしたい。	B	▲連携・協力・情報交換に時間がほしい。
	16	学校は、学校課題研究（国語科）を推進し、授業実践に努めています。	A	○話し合い活動やクロムブックの使い方等、成果があった。 ○研究授業等を通じて、教科や授業法への理解を深めている。 ○全学年、研究授業を行えたことがよかった。多くの時間を確保し取り組んでいたが、研究主任の負担がとても多く感じた。 ○研究授業への取り組みと、各授業から学ぶものは大きく、日々の授業実践に生かしている。	A	
学校の重点目標に即した重点目標を達成するための評価項目	17	学校は、「新宿っ子3つの柱」（笑顔であいさつ、温かい言葉遣い、もくもく清掃）を子供達に定着させている。		○もくもく清掃については、昨年に比べ、職員が気持ちを合わせて具体的な取り組みを推進しようとした。心かけた。 ▲3つの柱自体が意識されていない。特にもくもく清掃の意識が低い。 ☆外から来た人が気持ちよく帰れるような手軽にできる「おもてなし」を指導すると良い。 ☆6年生の手本となる行動を下級生が見習うという校風ができるとよい。	A	○「笑顔で挨拶」よくできている。
	18	学校は、ユニバーサルデザインの視点による授業づくりとして、学習環境の整備に努めている。	B	○教室前面に掲示を極力しないというのは共有できている。 ○ユニバーサルデザインに関する研修もあり、各教員が意識することはできている。 ▲自分自身が出来ていない所があった。 ▲ユニバーサルデザインの視点に立った学級経営、授業づくりは、まだまだ改善の余地があると感じる。	B	

## 令和3年度保護者アンケート調査結果について

昨年12月に実施しました保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。結果のご報告をいたします。(回答数410)

【A：当てはまる B：大体当てはまる C：あまり当てはまらない D：当てはまらない E：わからない】 (%)

No	評価項目	A	B	A+B	C	D	E
1	お子様は、学校に行くのを楽しみにしている。	42.7	46.3	89.0	8.3	2.2	0.5
2	お子様は、自分の学級が楽しいと言っている。	46.6	43.4	90.0	6.6	1.4	2.0
3	お子様は、仲のよい友だちがいる。	68.3	27.3	95.6	2.0	0.4	2.0
4	お子様は、先生に相談できる。	27.8	46.3	74.1	13.7	3.7	8.5
5	お子様は、授業を理解している。	37.1	54.9	92.0	5.1	2.2	0.7
6	お子様は、新宿っ子3つの柱「笑顔で挨拶」「温かい言葉遣い」「黙々清掃」ができています。	22.2	54.4	76.6	11.2	1.0	11.2
7	学校の教育活動に満足している。	22.7	65.4	88.1	6.1	0.4	5.4
8	学校は、学年・学級の教育活動の充実に努めている。	28.8	56.8	85.6	5.6	0.3	8.5
9	学校は、「一人一人が輝き、ともに伸びゆく」ための授業や活動の実践に努めている。	22.9	55.6	78.5	8.5	0	12.9
10	学校は、子どもを理解し、個に応じた指導の充実に努めている。	21.0	59.0	80.0	9.0	1.0	10.0
11	学校は、家庭や地域との協力・連携による特色ある教育活動の充実に努めている。	21.0	55.9	76.9	7.3	1.0	14.9
12	学校は、豊かな心を育成しようと努めている。	22.9	56.6	79.5	6.8	0.7	12.9
13	学校は、児童が健康で安全な生活を送ることができるよう努めている。	37.1	54.6	91.7	3.2	1.2	3.9
14	本校の学校教育目標が「やさしく・かしこく・たくましく」であることを知っている。	62.7	30.7	93.4	3.7	1.5	1.5
15	学校の教育活動に参加または協力している。	25.4	59.5	84.9	10.7	2.4	2.0
16	学校は、保護者が参加しやすいように行事等を工夫している。	28.3	55.9	84.2	9.0	2.0	4.9
17	学校は、教育情報の提供や家庭への連絡を積極的に行っている。	32.4	51.0	83.4	9.5	2.7	4.4
18	学校は、保護者や地域の願いに応えている。	18.3	53.9	72.2	8.0	2.2	17.6

- ・AとBを合わせて90%以上の項目がありますが、一方で70%台の項目も見られます。
- ・特に、「4 先生に相談～」 「6 お子様は、新宿っ子3つの柱～」の項目改善を職員で共有し、「18 学校は、保護者、地域の願いに応えている。」の向上につなげていくよう努めます。
- ・今年度は、「わからない」という回答が多くありました。コロナ禍において学校の教育活動が見えづかった点については、オンラインも含めた行事への参加や協力が得られるような工夫や、積極的な情報提供をさらに進めていきます。困難な点もありますが、保護者や地域の皆様のご協力をぜひよろしくお願いいたします。

### <教育活動全般に関するアンケートについて>

様々なご意見をいただき、ありがとうございました。下記はご意見等の一部を集約したものです。オンラインによる動画配信や宿題関係など、お子様やご家庭の現況によりご意見が大きく分かれていましたが、すべてのご意見等を職員で共有し、今後の工夫・改善につなげていきます。

- ・コロナ禍での授業参観や運動会に参加できる工夫を！
- ・家庭教育学級などは、オンラインも続けてほしい。
- ・学校生活が見えない。
- ・ランドセルが重い。
- ・手紙が多い。欠席連絡をオンラインにしてはどうか。



コロナ禍が続く場合、一斉ではなく各学年学級で来校していただける授業等を検討します。教科により、持ち帰りの回数を減らします。メール等の活用を増やし、紙の使用を減らします。